

## 「伊陸夢プラン」取り組みに向けて

伊陸地区コミュニティ協議会 会長 山本 達也  
伊陸夢プラン支援協議会 会長 西川 義彦

12月23日に開催した伊陸フェスティバルのご報告をさせていただきます。

冬の風物詩として行われていた、年末大売出しが6年ぶりに12月23日（日・祝）伊陸小学校グラウンドで開催することができました。前日から空模様が心配されていましたが、当日はなんとか天気も味方してくれて予定通り実施することができました。この企画は、昨年3月に策定した伊陸夢プランの取り組みの一つで、伊陸地区の人口が減少すると予想される中で、地区コミュニティ協議会では、これから安心して暮らし続けることができる元気で活力のある伊陸地区にしようと計画したところでございます。たすけあいの郷（さと）いかちをスローガンに掲げている夢プランでは、活動を10項目かかげ、その課題解決策と取組方法、取組時期、取組主体が示されており、今回のイベントがその一環で、平成24年を最後に途絶えていた伊陸年末大売出しを伊陸フェスティバル新鮮市場と銘打って、地区内の農事組合法人や朝市グループなどの協力をいただき開催することができました。

当日の午前9時にはそれぞれのテントの前に沢山の行列ができ、午後1時までの終了の間、延べ千人を超える来場者で会場を大いに賑わいました。

イベントコーナーでは、昔ながらの「だいがら」を使った餅つき体験や、門松、クリスマスツリーづくりなど大勢の親子連れで、楽しんでいただきました。

また、伊陸米のおにぎりやぜんざい、焼き芋の無料配布では長蛇の列ができるほどの大盛況で、この催しに花を添えていただきました。イベントの最後には、ウエスト・いかち様からの無償提供により、紅白の餅2千個の餅まきを行い幕を閉じさせていただきました。

前日から当日の運営に対し、沢山のお手伝いをいただいた皆様や、ご出店いただいた皆様、無料配布の食材をご提供いただいた皆様に感謝申し上げますとともに、次回も更に飛躍できるフェスティバルにしていきたいと考えておりますので、今度ともご支援、ご協力を賜りますよう重ねてお願い致します。

